

オリーブの会通信

2015年1月6日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)



第151回月例会ご案内

日 時	2015年1月18日(日) 13:30 ~ 16:30 (受付: 13:00 ~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階(第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30 ~ 15:00 「精神科クリニックで出会う 患者さんたち」 メディカル カウンセリングルーム たなかクリニック 精神科医 田中 和孝 氏 (質疑応答) 15:00 ~ 15:15 休憩 15:15 ~ 16:30 グループ別話し合い
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円

新年明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本年は、オリーブの会（ポパイの会含む。）にとって、これまでの実績を広く PR 出来る好機でもあり、厚労省より KHJ 親の会が委託された「ひきこもりピアサポーター養成研修」に続き、県より委託された「平成 26 年度ひきこもりサポーター養成研修」等を生かして、今後のサポーター派遣事業の実施主体である市、町とともに、ひきこもり当事者に寄り添ったきめ細やかな支援を、私たちのためにも推進していかなくてはなりません。また、世間体を気にして抱え込んで苦しんでいるご家族には、ぜひ親の会とつながって、共に関係機関、専門家等のご指導をいただき、KHJ 本部はじめ多くの方々のご支援のもと私たちも研鑽を積み、会員一同、強い心で手を結び「諦めない明日のために」の原点を忘れず、一致協力して一歩でも前に進んでまいりましょう。

昨年 12 月 21 日に開かれた月例会は、年末で忙しく厳寒にも関わらず 26 名の方の参加をいただきました。特に、12 月の月例会は明るい話題の多い実りある会となりました。正にオリーブの会には、「継続は力なり」の言葉が当てはまるのではないのでしょうか。

平成 27 (2015) 年は、KHJ 親の会主催の「全国ひきこもり家族支援者交流会 第 10 回香川大会」が予定されています。オリーブの会の役割が益々大きなものになると見込まれますので、会員一同のご協力をよろしくお願い致します。最後になりましたが、くれぐれもお体を大切に下さって下さい。

12 月月例会の概要は、次のとおりです。

1 報告・連絡 (川井理事長)

- 「運営委員会」第 10 回 (1/4) 第 11 回 (2/1)
- 「第 151 回月例会」1/18
- 「ポパイの会」
 - ・ボウリング大会 (1/18) (会場の予約から周知、支払いまで若者に任せました。)
 - ・デッサン講習 (2/15) (M さんに講師になってもらいます。)
- 「全国ひきこもり家族支援者交流会 第 10 回香川大会」10 月 31 日 (土) ~11 月 1 日 (日)
テーマについて、またどのようなことでも結構ですので、ご意見等をお寄せください。
香川大会に関する詳細については、最終決定は四国ブロック会議で行います。
- 「関連研修・講演・協議会等」
 - ・平成 26 年度第 7 回ひきこもりサポーター養成研修 (フォローアップ研修) (1/10)
 - ・第 2 回香川県ひきこもり対策連絡協議会 (1/23)
 - ・青少年育成支援ネットワークフォーラム (1/24)
 - ・講演会 WAM 助成事業 KHJ 親の会 (家族会連合会) 主催
(高知県やいろ鳥の会 1/11、愛媛県こまどりの会 2/7、徳島県つばめの会 2/7)
 - ・親の集い (香川県小豆総合事務所 保健対策課 2/12)
- 「若者交流会」(3/5 高知県の若者とともに 未定)
- 「助成金関係」(堀井運営委員説明)
助成金の申請は現在 2 件申請中で、その結果は 2~3 月中の予定となっている。申請内容は、居場所活動事業他となっています。今後とも、財源確保のため出来るものがあれば申請をしていきたい。

2 「ポパイの会の活動を通して」

今回参加の6名の方に、会場正面前に出ていただき、2014（平成26）年の活動を通じての感想や今後の抱負などをお一人ずつ話していただきました。その要旨は次のとおりです。

- グループワークに参加出来て親の考えていることが見えるようになった。
- レク（バーベキュー）を通じて人との接し方の違いを学べたので今後に生かしたい。
- 新しい人との出会いがあって楽しい思い出が作れ、元気を貰えた。今後も活動を続けて欲しい。
- レクや作業を通じて人と繋がれたのは良かった。
- ポパイの会も、人が活動も活発になってきたのは有難い。
- ポパイの会も毎月行事が出来たのは良かった。今後は活動をより充実できれば有難い。
サポーター養成研修に参加できたのは大変よかった。出来れば、ポパイの会も人脈を生かして県内に3か所の拠点が出来ればと思う。特に、県（アンダンテ）との繋がりが出来ればと願っている。

3 「知事・高松市長への要望書提出について」

（泉理事）

本題に入る前に、泉理事からは、ご自身が今学んでいることの中から持論をわかりやすく、丁寧に話してくれました。その要旨は次のとおりです。



私は、自身の息子の同級生（Aさん）が亡くなったことをきっかけとしてひきこもり対策を何とかしなければという想いで、ひきこもりに関する書物を何冊も読み、ひきこもり問題がどのように捉えられているのかも見えてきたところです。

私は福祉の仕事長くしていた者として、福祉の原点は「社会的に弱い人がどういう生活をしているのかが、その時代、その国の豊かさを示すものだ」と常に思っています。

とりわけ、ひきこもり（社会的弱者）の生き方はこれからの新しい生き方を提示すると共に社会の矛盾を体現しているように思っている。そのようなひきこもり者にとっての居場所は、若者が元気を取り戻し、仲間と触れ合え、社会へ出ていくキッカケとなる場としてなくてはならないものである。

近年になって、国は社会的弱者一人一人に寄り添った施策～不登校（磨かれないダイヤモンド）等も含めたもの～を始めたばかりで、その延長線上にひきこもりも含まれていると思われる。ひきこもりへの助成も出るようになるのでないか思っている。

本題の3点（要旨）は次のとおりです。

(1) 「知事・県議会議長への要望書提出」について

○ 県知事への要望（詳細は12月ご案内に掲載済）

- ・香川県精神福祉センターへの精神科ドクター配置
- ・居場所の維持管理費への助成（岡山県のようなもの）
- ・サポーター養成研修修了者をアウトリーチ活動事業に従事させて

欲しいなど。

- ・要望の結果は12月24日に出る予定となっている。

○ 県議会議長への要望

- ・県知事と同様の要望書を提出したところ、議長はひきこもりに対する深い理解を示していただいた。
- ・11月県議会最終日には、ひきこもりに関する要望書が採択され、地方自治法第99条に基づき国に提出されることが決定されました。
- ・要望書提出にあたり県議会議員 都築信行氏には大変お世話になり感謝申し上げます。

(2) 「高松市長への要望書提出」について

(12/5 市長へ提出の前に関係窓口へ提出：高松市保健センター)

- ① ひきこもりサポーター派遣事業の早期推進について
平成26年度県が実施したひきこもりサポーター養成研修修了者を派遣事業の実施に活用して欲しい。
- ② 平成27年度からスタートする「生活困窮者自立支援事業」の実施におけるひきこもり対策の具体的方針の明示について
 - ・具体的には、10人程度の派遣事業参加を想定している。見立ての段階では保健師と一緒に訪問を希望。
- ③ 「居場所」活動に対する補助金の交付について
 - ・ひきこもり当事者が集う「居場所」の存在価値は極めて甚大であることは国のガイドラインにも示されている。「居場所」開設は当事者をひきこもり状態から社会活動への参加につながる近道である。「居場所」の運営活動費に対する補助金の交付をお願いしたい。
 - ・すぐに回答は貰えなかった。
- ④ オリーブの会の居場所を「地域活動支援センター」として認めていただきたい。
 - ・ひきこもりの居場所活動は、地域活動支援センターⅢ型として認めていただきたい。そのため、現在の地域活動支援センターの設置基準を緩和し、ひきこもり者が事業の対象となり得るようなものにしていただきたい。
 - ・要望書提出にあたり市議会議員 春田敬司氏には大変お世話になり感謝申し上げます。

(3) 和歌山県「エルシティオの施設見学」について

エルシティオ（2012年2月に講演をしていただいた和歌山県の金城先生が立ち上げた、ひきこもりの青年たちの社会参加を支える共同作業所）をオリーブの会で施設見学を予定している。当施設はひきこもり者が中心となり運営されており、本会の活動に役立つものと思う。募集人員は20名程度で研修時期は3月6～7日（平日）を予定している。なお、参加費用は、参加人員によって決めることとしたい。

4 グループ別話し合い

今回は、月例会の参加者が多数であったため、3グループに分かれ、その中にポパイの会の若者が数名ずつ入って話し合いをしました。

テーマは、あらかじめ決めずに話し合いを始めましたが、どのグループも「今年の活動等を振り返って」の話題になりました。

その中で、

親からは、「オリーブの会に参加することで気持ちが楽になる」「子供にはもっと自信を持って生きて欲しい」「息子が気遣ってくれることをひしひしと感じる」「自然体で生きて欲しい」「息子は家のことを手伝ってくれよるようになったが、親なき後のことが心配だ」「ひきこもり大学の講演をもう一度聴きたい」等。

若者からは、「親のサポートに何時も感謝している」「そっと見守って欲しい」「一言の声掛けは有難い」等の話がありました。

以上、限られた時間ではありましたが、貴重な意見交換が行われたグループ別話し合いとなりました。

以 上

【ポパイの会】

12/4 (木) 年賀状の作成 (参加：当事者 5名)

先週に引き続き、ご家族から注文のあった年賀状を作成、印刷しました。そのあと居場所にまだ来ることができない 10 名の当事者に、ソフトから既製のデザインを選択し、それぞれ個別の短いメッセージを手書きで添えました。

反省点としては、字のうまい人に代表して書いてもらえば良かったということが上げられる。

(ポパイの会 H さんの日誌より)

メッセージを書くにあたり、まだ一度も会ったことがない当事者もいるので書くのが難しいという、知っている若者が、その人について解説したりして、一人一人の顔を思い浮かべながら、本当に思いを巡らしながら、また真剣に考えながら書いていました。

休憩時には K さんが皆のコーヒーの準備をはじめると、M さんがいろいろ気遣い手伝っていました。私も別室に居たところ一緒にどうぞと誘っていただきました。美味しいコーヒーと K さんのお母さんの手作りのお芋のお菓子、H さん持参のお土産、途中から参加の M さん持参のクッキーと、こたつの上がおやつで一杯になりました。お茶とお菓子をご馳走様でした。

(川井)





【2015 / 1・2月居場所活動予定】

内 容	月	日	曜日	時 間	担 当
2014年度第10回運営委員会	1	4	日	13:30~16:00	川井
個人カウンセリング (松田 勝先生)	1	10	土	※中止とさせていただきます。	川井
ポパイの会 (ボウリング大会)	1	18	日	13:30~16:00	森下 加藤
2014年度第11回運営委員会	2	1	日	13:30~16:00	川井
ポパイの会 (デッサン講習) ※鉛筆デッサン、水彩画でも構いません。	2	15	日	13:30~16:00	森下 本倉
個人カウンセリング (松田 勝先生)	2	14	土	9:30~12:30	加藤 W

※デッサン講習については、普通の画用紙は準備しておきます。鉛筆の方は鉛筆、消しゴムを、水彩画の方は絵の具、パレット、筆、筆洗、練消しゴムなど持参してください。何でもOKです。

【お知らせ】

【ひきこもり支援セミナー】 主催：NPO法人全国ひきこもりKHJ親の会(家族会連合会)

日 時	平成27年2月7日(土) 13:00開会 (受付開始12:30より)
会 場	テクノプラザ愛媛 1階テクノホール ☎ 089-960-1100 松山市久米窪田町337-1
内 容	第1部 体験談「ひきこもりの体験・ピアサポート活動について経験者の話」 (KHJ香川県オリーブの会の若者) 第2部 講演「認知行動療法を使って ひきこもりの若者のやる気を引き出す」
講 師	境 泉洋氏 徳島大学大学院准教授 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部
参 加 費	無 料
共 催	○KHJ 愛媛県こまどりの会 チラシを同封しています。

※ 当会の若者が体験談・ピアサポート活動について話しますので、関心のある方は、少し遠いですが、ご参加いただければ幸いです。